

荒川区健康増進計画（平成 29～33 年度）（素案）に関する  
パブリック・コメントの実施結果について

1 意見募集期間

平成 29 年 2 月 8 日（水）～平成 29 年 2 月 22 日（水）（15 日間）

2 実施方法

荒川区健康増進計画（平成 29～33 年度）（素案）の全文及び概要版を区ホームページに掲載するとともに、健康推進課及び情報提供コーナーにおいて閲覧に供しました。

3 意見提出数

11 名（21 件）

4 意見の取扱い

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 最終案に反映する・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 件  |
| 計画（素案）に盛り込まれている・・・・・・・・  | 11 件 |
| 意見・要望としてお聞きし、今後の参考にする・・・ | 9 件  |

5 提出された「意見の要旨」とそれに対する「区の方考え方」

|   | 項目   | 意見の要旨   | 意見に対する区の方考え方  | 取扱 |
|---|------|---|---|----|
| 1 | 計画全体 | 「生涯健康都市あらかわ」の実現を目指す計画の策定はすばらしい事です。  | 「生涯健康都市あらかわ」の実現を目指すため、本計画の施策を着実に実施してまいります。  |    |
| 2 | 計画全体 | 荒川区健康増進計画で区民が安心、安全に長く住み続けられるよう期待しております。   |   |    |
| 3 | 計画全体 | 健康増進計画を拝見して、今まで気づかなかった注意点が記載されており、健康のために努力していかなければと思った。   | 本計画は、区民の皆様が御自身の健康のために必要なことを考え実行し、より健康な状態で生活できる社会をつくることを目的としています。区はその実現のために、今後、様々な施策を展開し支援してまいります。       |    |
| 4 | 計画全体 | 定期的な健診により重大な病気を早期に発見できる。また、生活習慣は病気と密接な関係がある。生活習慣病に対して十分注意する必要がある。   |   |    |
| 5 | 計画全体 | 計画素案を読んで健康について学びました。家族にも減塩等を伝え食生活にもプラスになっている。早世の第一位ががんで荒川区の男性のがんの死亡率が高いことに驚きました。人口透析の患者一人当たりの年間医療費も500万円と知りました。日常生活の中で健康が得られるよう、食生活等を継続して気を付けていきたい。 |   |    |
| 6 | 計画全体 | 今後、介護や医療の面では地域の主体性が高まると思われれます。区民が健康や医療問題を学ぶ場を設けて欲しいと思います。   | 区では健康、医療、福祉に関する様々な講演会等を開催しております。また、保健所では、町会等団体の会合の場等に保健師・栄養士・歯科衛生士等が出向き健康相談や健康教室を実施しておりますので、お問い合わせください。 |    |

|   |      |   |   |
|---|------|---|---|
| 7 | 計画全体 | <p>健康増進計画の策定には国保事業のデータが主として使われているようですが、荒川区から後期高齢者に送られてくる医療費等通知書のデータを荒川区全体のビックデータとして使うわけにはいかないものでしょうか。高齢者の受診行動掌握を通じて、地域医療体制整備に使うて欲しいと思います。</p> | <p>健康増進計画の区民の健康状況のデータは、国民健康保険被保険者の40歳から74歳を対象とした特定健康診査の結果を主に使用しております。この結果を参考に、働き盛り世代の区民の生活習慣を把握し、課題の改善に取り組んでおります。後期高齢者の方については、保険者である東京都後期高齢者医療広域連合が、都内後期高齢者のレセプト等の分析を行い、その結果を参考に保健事業や医療費の適正化を推進しております。区としても東京都後期高齢者医療広域連合と連携して生活習慣病重症化予防等のデータを活用してまいります。また、地域医療体制整備については、東京都及び各区市町村で協議の上、検討を進めてまいります。</p> |
| 8 | がん対策 | <p>男性のがん死が多いのは足立区、台東区、北区なども同様。来年発表される全国がん登録に基づくデータは周辺区と共同で原因を解明する機会とならないでしょうか。</p>  | <p>「全国がん登録」制度で集められたデータは国等のがん対策の立案のための調査研究に活用されることとされています。<br/>区のがん対策にも活用していけるよう、都や周辺区と共に検討してまいります。</p>  |
| 9 | がん対策 | <p>がん予防・健康づくりセンターがあるにもかかわらず、男性のがん死亡率が23区で最も悪いことは不名誉なことです。区と区民が協力して対策を進める必要がある。</p>  | <p>本計画は、区民の皆様がご自身の健康のために必要なことを考え実行し、より健康な状態で生活できる社会を作ることが目的としています。区はその実現のために受診率を上げる対策として受診日を増やすことや胃内視鏡検診の導入など、今後、様々な施策を展開し支援してまいります。</p>  |

|    |                |  |  |
|----|----------------|--|--|
| 10 | ロコモティブシンドローム対策 | 先日、ロコモティブシンドロームが原因でけがをしてしまった。けがをすると、体調の悪化・筋力の低下など多くの弊害が生じる。健康を維持するためには、日常生活において、油断や思い込みをしないよう気を付ける必要がある。   | 健康増進・介護予防・ロコモティブシンドローム予防のためには、定期的な運動とバランスの良い食事により、筋力・歩行能力・バランスなどの体力を維持し、骨や筋肉の質を強化することが重要です。区ではころばん・せらばん体操の普及促進、ウォーキング事業の推進などにより、運動習慣を定着させるための取組みを行なうとともに、栄養相談、栄養講座などにより、バランスのよい食事をとるための取組みを行なってまいります。さらに、ロコモティブシンドロームの認知度向上・予防の普及啓発のための取組みも行なってまいります。歩行が困難等、日常生活に支障をきたした際は介護保険等のサービスが受けられる場合があります。ご相談ください。 |
| 11 | ロコモティブシンドローム対策 | ロコモティブシンドロームによるけがのため、歩行が困難になることもある。筋力の衰えが激しいと感じた時点で、行政その他のサポートを受けることはできないか。  | 健康増進・介護予防・ロコモティブシンドローム予防のためには、定期的な運動とバランスの良い食事により、筋力・歩行能力・バランスなどの体力を維持し、骨や筋肉の質を強化することが重要です。区ではころばん・せらばん体操の普及促進、ウォーキング事業の推進などにより、運動習慣を定着させるための取組みを行なうとともに、栄養相談、栄養講座などにより、バランスのよい食事をとるための取組みを行なってまいります。さらに、ロコモティブシンドロームの認知度向上・予防の普及啓発のための取組みも行なってまいります。歩行が困難等、日常生活に支障をきたした際は介護保険等のサービスが受けられる場合があります。ご相談ください。 |
| 12 | 禁煙と受動喫煙防止      | [第3章 第3節(4)禁煙と受動喫煙]の「現状と課題」において、路上喫煙について触れられていないが、「主な取り組みと具体的な事業」に「まちの環境美化条例に基づく路上喫煙禁止[環境課]」の記載があるのは、整合性がとれていないのではないか。   | 路上喫煙について、現状と課題を追記いたしました。   |
| 13 | 禁煙と受動喫煙防止      | 荒川区のまちの環境美化条例は、まちの環境美化を促進するための条例であり、本来の目的とは異なり、受動喫煙防止の推進の取組に利用することは適切ではないため、「まちの環境美化条例に基づく路上喫煙禁止の推進[環境課]」(歩きたばこの禁止、自転車乗車中の喫煙禁止、路面ステッカーや電柱看板などによる普及啓発など)の文面については削除を要望します。 | 荒川区まちの環境美化条例は、「まちの環境美化を促進するために必要な事項を定めることにより区民の生活環境の向上を図ることを目的」とし制定されたものです。条例に基づく路上喫煙禁止の推進の取組は、喫煙者の近くにいる方の受動喫煙防止や臭気による不快感を防ぐことにつながり、条例の目的とする区民の生活環境の向上となると考えております。また、区民の方から多くの御要望をいただいていることも踏まえ、本計画においては区民の生活環境の向上にも取り組みます。  |

|    |                |  |   |
|----|----------------|--|---|
| 14 | 禁煙と受動喫煙防止      | 荒川区まちの環境美化条例の遵守ならびにマナーを守ってもらうためにも、駅周辺等における公共の喫煙所の設置について要望いたします。  | 路上喫煙禁止エリア内の指導を強化するとともに、一定の喫煙ができるスペースを整備することも必要であると考えています。しかし、駅前において設置するスペースを確保することが非常に難しい課題であることも認識しており、あらゆる可能性について今後も検討して参ります。   |
| 15 | こころの健康づくり      | 団塊世代の地域デビューには区民ゴルフ大会が一番ではないでしょうか。  | 元気な高齢者の方が活躍する場として、地域で活動しやすい荒川ころばん体操は団塊世代の方の地域デビューにも適したものと考えております。<br>御意見の区民ゴルフ大会を含め、地域活動のきっかけとなる様々な機会創出について、検討してまいります。  |
| 16 | 歯と口の健康         | 荒川区の高齢者に対する施策のうち、歯科の分野が他区に比べて立ち遅れていると思います。区又は区歯科医師会による歯科診療センターがありません。6024は92.6%達成しており、8020運動(表彰、達成率)に取り組むべきではないでしょうか。また、歯周疾患検診対象年齢の引上げも図るべきでしょう。 | 介護が必要な高齢者の方等、歯科診療所へ通院することが難しい方に対しては、高齢者福祉課の窓口等で御相談に応じるなど、歯科の分野におきましても他区と同様に取り組んでおります。また、在宅医療連携推進会議では荒川区歯科医師会と意見交換を行っております。今後も引き続き在宅における歯科診療の体制整備に向けた検討をおこなってまいります。<br>また、歯科に関する相談は、歯科衛生士が相談に応じております。8020運動については、若い世代からの歯周病予防が重要であるため、今後も予防に力をいれてまいります。                            |
| 17 | 健康づくりを支援する環境整備 | 満点メニュー提供店が少ない。このまま継続する理由はどこにあるのでしょうか。<br>また、新たにベジファースト推進や野菜350運動を取り組むようですが、足立区の事例を参考に、健康無関心層にも影響を与えるようなことを実施して欲しいと思います。                          | あらかわ満点メニューは区内飲食店でいつでも健康に配慮された食事が摂れるように食環境を整えることを目的としており、区民認知度は約6割となっています。満点メニューを提供する店主の健康に対する意識が高まり、他メニューにも波及効果がございます。「野菜たっぷり」や「塩分控えめ」等のカテゴリーの新設や小盛り表示等の利用者ニーズに合わせた開発を行っております。健康に対し関心の低い方も自然に健康に配慮された食事をとることができるよう、今後も区報やまんてんメニューの普及啓発誌、SNS等で普及啓発を図るとともに、食環境整備に向けて引き続き取り組んでまいります。 |

|    |                |  |  |
|----|----------------|--|--|
| 18 | 健康づくりを支援する環境整備 | 体組成計の利用は低水準のように思われます。定期的に測定会を開き、結果を受診者に解説するようなシステムを導入すべきでないでしょうか。  | 健康づくりのきっかけを目的として、利便性を考え地域の身近な場所に体組成計を設置しており、今後増設する予定です。区民の皆様健康づくりに役立てるよう、結果の見方をわかりやすくまとめて掲示することや、出張健康教育にて講和と体組成測定を行い、解説する等工夫を図ってまいります。   |
| 19 | その他            | 荒川遊園地内に昔、荒川温泉という施設があったと聞いている。荒川遊園地の改装があるとのことだが、そこに日帰り温泉施設は作れないか。   | 荒川遊園では観覧車及びメリーゴーランドの入れ替えを中心とした改修を行い、更なる魅力向上を図っていくことを予定しております。日帰り温泉施設につきましては、都市公園法による建築面積制限があり、荒川遊園内に整備する予定はございませんが、荒川区国民健康保険及び後期高齢者医療制度に加入しているみなさまの健康保持・増進のため、通常より安い料金で利用できるよう4施設と割引契約を結んでおります。<br>みなさまがより健康で過ごせるよう、お気軽にご利用ください。 |
| 20 | その他            | 総合スポーツセンターのプール脱衣室の改善と水中ウォーキング専用レーン設置を要望します。  | 荒川総合スポーツセンターにつきましては、より多くの皆様にスポーツを楽しんでいただく環境を整備するため平成31年度に大規模改修を予定しています。<br>この改修におきまして、プール可動床の導入や、プールをはじめ、館内更衣室の改善について検討を行っております。水中ウォーキングにつきましては、現在、教室運営の無い時間帯にウォーキングでご利用いただけるレーンを設けておりますので、是非ご利用ください。                            |
| 21 | その他            | 健康診断を行った後渡される「診査結果票」について、数十年前と比べ改善が見られないので、一目瞭然にわかりやすく年次経過が比較できるようにしてほしい。他自治体ではわかりやすくした結果、自己管理が進み医療費支出減の一助になった話もある、「診査結果票」の改善を希望します。 | 荒川区においては平成20年度から特定健診事業を実施し、事業の周知に努め、受診率も上がっているところです。今後、健康診査の結果について自己管理が容易にできるよう、他区等の状況を踏まえつつ、改善を検討してまいります。   |